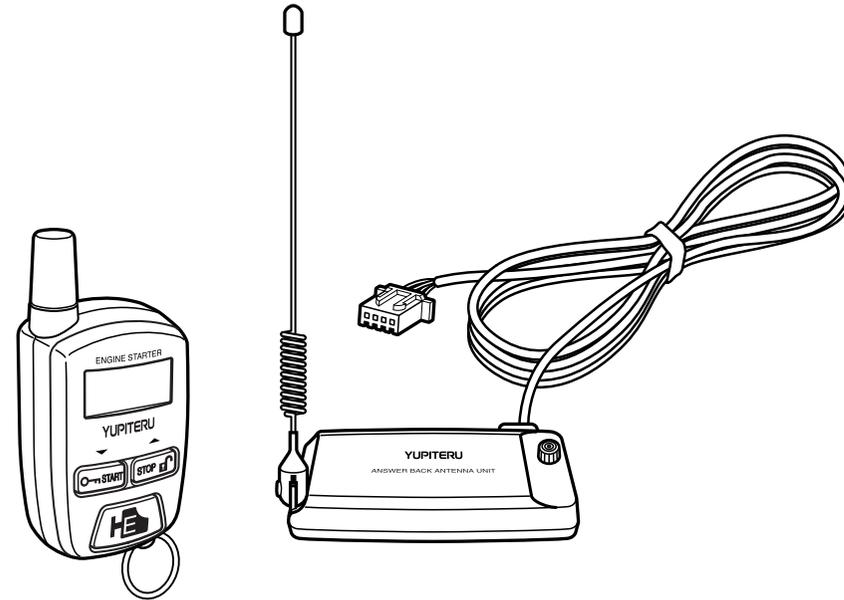


“双方向”テレコントロールエンジンスターター

VE-E740W

取扱説明書 / 保証書



このたびは、ユピテルのテレコントロールエンジンスターターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。また本機は、電波法第四条「技術基準適合証明を受けた無線局」および電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当するテレコントロールシステムです。



警告

安全のため取り付けはお買い求めいただいた販売店様やカーディーラー様にご依頼ください。

- 本機は販売店様やカーディーラー様での取り付けを対象としております。
- お客様ご自身での取付作業に対するサポートは行っておりません。
- お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。

■取り付け可能な車

- 適応する車種別専用ハーネスの設定がある車
 - オートマチック(AT)車
 - 12V車で、⊖アースの車
- ※上記の3つの条件を満たす車以外ではお使いいただけません。
- マニュアル(MT)車・外国車には取り付けできません。

目次

はじめに	主な特長	2
	多彩なオプション	3
	ご使用前に(安全上のご注意)	4
	リモコン使用時の注意とヒント	5
	各部の名称	6
	基本操作	7
	ダイレクト操作	7
	メニュー操作と設定項目	8
操作する/エンジンスターター	エンジン操作を行う	9
	エンジンを始動する	9
	リトライ機能とセルモータ	
	始動時間について	10
	アイドリング時間を延長する	10
	エンジンを停止する	11
	エンジンの状態を確認する	12
	車への乗車	13
	指定時刻にエンジンをかける	14
	現在時刻をセットする	14
	タイマースタートを設定する	15
	前回始動した同じ曜日・時刻にエンジン始動する	16
	エンジン始動の予約を取り消す	17
	前回始動した曜日・時刻を変更して	
	エンジン始動予約をする	18
	ターボタイマー機能	19
	アイドリング終了予告・終了通知機能	19
	エンジンスターターの設定	20
	エンジンスターター機能の項目と内容	20
	リモコンからエンジンスターター機能を設定する	22
	エンジンスターター動作の項目と内容	24
	リモコンからエンジンスターター動作を設定する	25
	オートストップ機能について	26
設定を確認する	27	
操作する/セキュリティ	セキュリティ機能を使う	28
	IG(イグニッション)ON機能を使う	28
	AguilasESと連動する	29
	ダイレクト操作でAguilasESの	
	警戒モードを変更する	30
	通報表示	31
	通報音・警報音の停止	32
	警戒状態の確認操作を行う	33
	セキュリティ機能の設定	34
	セキュリティ機能の設定項目と内容	34
リモコンからセキュリティ機能を設定する	35	
操作する/便利な機能	便利な機能	36
	ドアをロックする	36
	ドアをアンロックする	37
	車内温度を確認する	38
	バッテリー電圧を確認する	38
	スリープ機能について	39
	安全機能について	39
その他	リモコンの電池交換	40
	リモコンの登録	41
	バッテリー交換や本機の	
	付け替え時の再設定について	42
	こんなときは	44
	アフターサービスについて	46
仕様	47	
セット内容	47	
保証書	裏表紙	

主な特長

■通信技術

●独自のS/N比改善プログラム等のプログラミング処理により、今まで受信しにくかった屋内やビルの陰でも確実にエンジン始動サポートします。

●トッピングアンテナ(リモコン)アンテナを伸ばさなくても通信できるトッピングアンテナ(特許申請中)を採用し、スマートなエンジンスタートを実現します。

○通信距離の目安

通信距離：最大3,500m(見通し)

都市部(ビル街)：300m(遮蔽物あり)～1,000m

郊外(住宅街)：400m(遮蔽物あり)～1,500m

※上記距離はいずれもアンテナを伸ばしたときの測定値です。

■ご注意

実用通信距離は一般的な電波環境での目安であり、通信距離をお約束するものではありません。電波の届かない地下や屋内では表記通信距離より短くなることがあります。

■ディスプレイで簡単操作

日本語表示によるメニュー画面やアシスト機能で初めての方でも簡単に操作できます。

■セル時間設定

車にあわせて、セルモータの始動時間を0.5～5秒の間で0.1秒単位の設定ができます。

■アイドリング時間設定

季節、気候にあわせてアイドリング時間を、1～30分の間で1分単位の設定ができます。

■グロー時間設定

最適なエンジン始動を行えるように、グロー時間を1～10秒の間で1秒単位に設定ができます。

■アイドリング延長機能

アイドリング設定時間に対して10分のアイドリング延長ができます。

※アイドリング時間設定を30分にしている場合やオートストップ機能を使用している場合は、アイドリング時間を延長することができません。

■アイドリング終了前予告・終了通知機能

アイドリング終了3分前と終了後の通知を行います。

■車内温度表示

車内温度をリモコンで確認できます。

■リモコンですべての設定が可能

アイドリング時間などの設定がリモコンから行えます。

■ターボタイマー機能

走行時間にあわせてアフターアイドリング(30秒～3分)を自動的に行うことができます。

■オートストップ機能

設定した車内温度に到達するとアイドリングを停止します。

■リトライ機能

1回でエンジン始動できなかったときに、再始動を自動的に2回まで行います。

■タイマースタート機能

設定した曜日の時刻に自動的にエンジンを始動しアイドリングを行うことができます。

■OCB(Option Control Bus)対応

ユピテルOCB対応製品を本機リモコンから操作することができます。

多彩なオプション

キーレスエントリー

(別売のA-17SF：キーレスエントリーを接続した場合のみ)

本機リモコンでドアロック/アンロックができます。

■ご注意

車種ごとにコントロールが異なるため、使用できない場合があります。また、別売のアダプターやドアロックハーネスが必要になる場合があります。

ドア検出

(別売のA-60を使用して、ドアスイッチに接続した場合のみ)

本機によるアイドリング中にドアを開くことにより、エンジンを停止することができます。(アフターアイドリング中は機能しません)また、本機内蔵のセキュリティ機能を使用すると、ドアの開放を検知することができます。

コンライトキャンセル機能

(別売のA-60を使用して、ドアスイッチに接続した場合のみ)

オートライト機能搭載車での使用時に、オートライト設定中でもアイドリング終了後にライトを消灯させバッテリー上がりを防ぎます。

■ご注意

一部の車輻において、コンライトキャンセル機能が正常に働かない場合があります。

ハザードアンサーバック機能

(別売のA-18SF：ハザード制御を接続した場合のみ)

別売 ハザード制御：A-18SFを接続し、本機リモコン操作でエンジンを始動すると、エンジン始動検出完了後にハザードランプを3回点滅させてエンジンの始動をお知らせします。また、本機によるアイドリング中にも、リモコン操作によりアイドリング状態の確認(3回点滅)ができます。

さらに、別売 キーレスエントリー：A-17SFまたは弊社オートキーレスシステム接続車は、リモコン操作またはオートキーレス機能によるドアロック/アンロック時に、ハザードランプを1回/2回点滅してドアの施錠・解錠をお知らせします。

セキュリティ機能

本機はエンジン始動を検出するIG(イグニッション)ON機能を内蔵しています。

別売のA-60(ドア接続線)の接続やAguilasESとの連動により、機能を拡張することが可能です。

ドアミラーコントロール機能

(別売のドアミラーコントローラを接続した場合のみ)

本機リモコンのドアロック・アンロック操作でドアミラーの開閉ができます。

ドアロック/アンロックへの連動は、別売キーレスエントリー：A-17SFの接続が必要です。接続しない場合は、ドアミラーコントローラのみでの操作となります。

※適応車種限定・・・詳しくは弊社サービス部または販売店にお尋ねください。

イモビ対応アダプター

(別売のイモビ対応アダプターを接続した場合のみ)

車輻純正のイモビライザー装着車に本機を取り付けるためのアダプターです。

本機取り付けにより、車輻のイモビライザー機能を損なうことはありません。

※ エンジンスターターでの始動を除いて、車輻純正のイモビライザー機能は正常に動作します。

オートキーレスシステム(ラクシス)

(別売の弊社オートキーレスシステムを接続した場合のみ)

オートキーレスシステムのリモコンを所持しているだけで、“車に近づくとアンロック”、“車から離れるとロック”を自動で行う、一歩進んだキーレスエントリーです。

※ AguilasESとの併用はできません。

ご使用前に(安全上のご注意)

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

警告：警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う可能性があります。

注意：注意を無視した取り扱いをすると、使用者が傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

絵表示について

⚠ △ 記号は注意を促す内容であることを告げるものです。

🚫 ⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

🛑 ● 記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

警告

- ⚠ シフトレバーは必ずパーキング(P)の位置で、パーキングブレーキをかけた状態で使用する…思わぬ事故の原因になり大変危険です。
- 🚫 車の近くに燃えやすいものがある場所では、使用しない…発火の恐れがあります。
- 🚫 車のボディカバーをかけたまま使用しない…発火や排気ガスによる中毒の恐れがあります。
- 🚫 お子様などを車に乗せたままでは、絶対に使用しない…室内はキーでエンジンを始動した場合と同じ状態になり、大変危険です。
- ⚠ リモコンはお子様の手の届かない場所に保管する…お子様が勝手にエンジンを始動させてしまい、事故の原因となります。
- 🚫 換気の悪い車庫や屋内では、使用しない…排気ガスによる中毒の恐れがあります。
- 🚫 マフラーが雪で覆われるような降雪時には使用しない…排気ガスが車内に充満して大変危険です。
- ⚠ 必ずボンネットが閉まっている状態で使用する…エンジン部の作業中にエンジンが始動すると、大変危険です。
- 🚫 暖気運転の直後にエンジン点検などを行わない…火傷をする恐れがあります。エンジン停止後、少なくとも5分以上経過した後、十分注意して行ってください。
- 🚫 煙がでている、異臭がするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐに使用を中止して、販売店に修理を依頼してください。
- ⚠ 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、事故の原因となります。

- 🚫 サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。
- ⚠ 思わぬ事故を防ぐために、次のような場合は、必ずリモコンの電池を抜いてください。
 - ボンネットを開けるとき
 - 整備や車検などで車を第三者に預けるとき
 - 本機の使用方法を理解されていないかたが運転するとき
 - 長期間、車を使用しないとき
- ⚠ 走行するときは、いったん本機でエンジンを停止させ、必ずキーで再始動する
本機でエンジンを始動させた状態では走行できません
エンジンが作動している状態でのキーの誤操作はセルの再飛び込みなど車を傷める危険があるばかりでなく、思わぬエンジンの停止や、ハンドルロック未解除のままの発進など、車の安全装置が動かないまま動き出すなどの事態をまねく危険性があります。
- 🚫 本機でエンジン始動をした際は、シフトロック解除機能等による通常の運行操作以外でシフト操作をしない…エンジンスターターの安全機能が働かず、思わぬ事故につながる場合があります。
- ⚠ 車輻の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用する
- 🚫 むやみに操作ボタンを押さない…リモコンの電波は周辺環境により、思わぬ遠方まで届く場合があります

注意

- あらかじめ駐車時には以下のことを守る
- ワイパー、ラジオ(オートアンテナ車の場合)をOFFにしてください。エンジン始動を行ったときに動きだすので危険です。
 - また凍結した場合、モーターや車種別専用ハーネスがヒューズ切れを起こし損傷する恐れがあります。
 - 全ての窓を閉めてください。
 - 全てのドアを施錠(ロック状態)してください。
 - 坂道や傾斜地でご使用になるときや、冬期でパーキングブレーキを解除して使用するときは、必ず輪止めをしてください。

公道上で、エンジンをかけたまま車を放置することは、道路交通法違反となります。必ず私有地で使用してください。



本機を取り付けたことによる、車輻や車載品の故障、事故等の付随的障害については、一切その責任を負いません。

ご注意 電波法に関して

- リモコンやアンテナユニットの技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- 海外では使用しないでください。
- 分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

ご注意 本機の機能について

- コンライトキャンセル機能を配線していない場合
オートライトコントロールシステムやコンライトシステム搭載車*で、夜間に本機を使用するときは、ライトスイッチを「OFF」にしておいてください。「AUTO」の状態では本機によりエンジン始動をした場合、ライトが点灯して、エンジンが停止したあととも消灯しません。
- ※暗くなると自動的にライトが点灯するシステム。エンジンが停止したあと、降車のためにドアを開閉することでライトが消灯します。

ご注意 ご使用にあたって

- 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を与えたり、受けたりすることがあります。
- カーナビゲーションや、ラジオ、オーディオなどを搭載した車では、バッテリーのマイナス端子をははずすと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子をははずす前に、必ずメモリー内容を控えてください。
- 市販のターボタイマーと併用することはできません。

リモコン使用時の注意とヒント

■ 安定した通信を行うために、次のことを守ってください。

- リモコンのアンテナを手で覆わないでください。



- リモコンを垂直に立てて操作してください。



- アンテナを完全に伸ばした状態の方が、アンテナを収納した状態より、通信距離が伸びます。
- アンテナを完全に伸ばしていない状態(中途半端な状態)の場合は、通信ができないことがあります。
- リモコンにチェーンやカギ、金属アクセサリなどを付けていると、通信エラーを発生する場合があります。

- オートクルーズシステム搭載車や電動チルトステアリング・マイコンプリセットのドライビングポジションシステム装備車では、まれにこれらの機能が正常に動作しなくなることがあります。
- ワイヤレスドアロックシステムやキーレスエントリーシステム装備車では、アイドリング中にドアのロック/アンロックができないことがあります。このようなときは、キーで操作してください。
- ターボタイマー機能は、ご使用になる車輻により、まれに正常に働かないことがあります。
- イグニッションキースイッチのバラツキが大きく、エンジンスターターで始動したときにセルがホールドする車輻では使用できません。
- リモコンを持ち歩くときには、落下などの衝撃を与えないでください。
- リモコンは簡易防滴構造ですが、濡れた手でさわったり、雨水などで濡れたりしないようにしてください。
- リモコンは、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- リモコンを次のような場所に放置しないでください。
 - 暖房器具の近くやダッシュボードの上など、温度の高くなる場所。
 - 湿度の高い場所や、風通しの悪い場所。
 - ホコリや油煙の多い場所。
 - 非常に温度の低い場所。
- リモコンのアンテナに強い力がかかるような取扱いはしないでください。
- リモコンが汚れたときは、柔らかい布でふいてください。ポリエステルなど静電気の起きやすいもの、またベンジンやシンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。



■ 正常に通信が行われず、「通信エラーもう一度、操作してください」が表示される場合は、以下のことをお試しください。改善される場合があります。

- 車輻(アンテナユニット)とリモコンの間に障害物がなくなるような方向に車を駐車してください。障害物により電波が遮断されることがあります。
- リモコンの右側面を車輻(アンテナユニット)に向けて操作してください。通信距離が伸びることがあります。



メモ

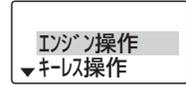
「通信エラー もう一度、操作してください」と表示される場合は、通信が正常におこなわれていない状態です。

警告

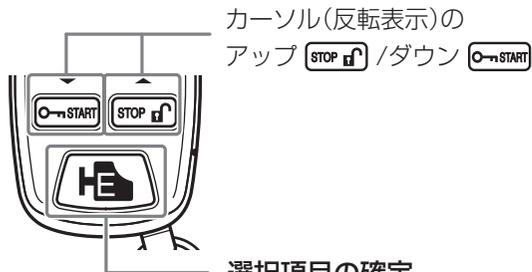
車輻の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用してください。リモコンの電波は、周辺環境など、条件の良いところでは遠方(3km以上)まで届くことがあります。

メニュー操作と設定項目

HE (エンジン)ボタンの長押し(約3秒)でメニュー画面を表示できます。ディスプレイに表示されている項目を選択するだけで、本機の操作や設定ができます。



メニュー画面時の操作方法



カーソル(反転表示)のアップ **STOP** / ダウン **Om-START**

選択項目の確定

次に項目がある場合は、次の項目が表示されます。最終項目を確定すると信号を送信します。

メモ

選択している項目は、反転表示されます。

ご注意

20秒間ボタン操作がないと、ディスプレイ表示が消え、通常モードに戻ります。

メニュー操作項目

[操作取消]を選択すると 通常モードに戻ります。
[戻る]を選択すると 一つ前の項目に戻ります。

エンジン操作

メニュー画面表示	メニュー内容
エンジン始動	➡ 9ページ参照
エンジン停止	➡ 11ページ参照
予約内容変更	➡ 18ページ参照
タイマースタート予約	➡ 16ページ、17ページ参照

キーレス操作

●IG警戒ONまたはIG警戒OFFの場合

メニュー画面表示	メニュー内容
ドアロック	➡ 28ページ、36ページ参照
アンロック	➡ 37ページ参照

●SQ連動(SQモード)の場合

メニュー画面表示	メニュー内容
モード1警戒	➡ 29ページ参照
モード2警戒	
モード3警戒	
警戒解除	
ドアロック	
サイレント警戒1	
サイレント警戒2	
サイレント警戒3	
サイレント解除	

確認操作

メニュー画面表示	メニュー内容
状態確認	➡ 12ページ参照
車内温度確認	➡ 38ページ参照
電圧確認	➡ 38ページ参照
設定確認	➡ 27ページ参照
警戒状態確認(SQモード時)	➡ 33ページ参照

設定操作

メニュー画面表示	メニュー内容
アイドル時間設定	➡ 20ページ参照
温度設定	➡ 20ページ参照
アイドリング通知	➡ 20ページ参照
威嚇LED設定	➡ 20ページ参照
始動表示切替	➡ 21ページ参照
表示時間設定	➡ 21ページ参照

エンジンを始動する

注意

- 車のバッテリーの性能が低下しているときは、エンジンキーで始動させる場合に比べ、本機でのエンジン始動ができにくくなります。
- 降雪時や寒冷地で車を駐車するときはワイパーなどをOFFにしてください。本機でエンジンを始動の際、ワイパーの凍結などにより過大な負担がかかり車種別専用ハーネスのヒューズが切れる恐れがあります。

ダイレクト操作

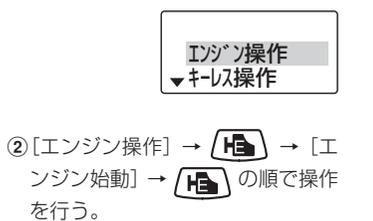
- 1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで **HE** (エンジン)ボタンを押す
ディスプレイ表示されます。
- 2 ディスプレイが表示中に、『ドレミファソ』が鳴るまで **Om-START** (スタート)ボタンを押す
[エンジン始動]と表示され信号を送信します。



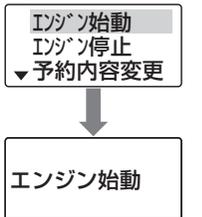
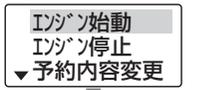
メニュー操作

エンジンを始動します

①操作確認音『ピッ』が鳴るまで **HE** (エンジン)ボタンを長押し(約3秒)する。



②[エンジン操作] → **HE** → [エンジン始動] → **HE** の順で操作を行う。



アンテナユニットが信号を受信すると、リモコンに信号を送り返します。

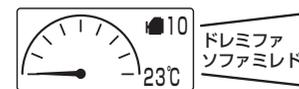
アンサーバック受信音『ソファミレド』とともにエンジン始動の開始をお知らせします。

※電波状態によって送受信がすぐに行われる場合があります。その場合、『ドレミファソ』、『ソファミレド』が連続して聞こえることがあります。



エンジン始動を検出して、始動確認の信号をリモコンに送ります。

エンジン始動音『ドレミファソファミレド』が鳴り、車内温度、アイドリング設定時間とエンジン始動をアニメーション表示でお知らせします。



●始動表示切替で「文字」に設定している場合は

※別売のハザード制御：A-18SFを接続していると、ハザードランプが3回点滅してエンジン始動をお知らせします。

●エンジンが始動できない場合は、リトライ機能が働きます。(リトライ機能ON時 ➡ 21ページ) 再始動(リトライ)を行ってもエンジン始動できないと

始動できませんもう一度、操作してください

メモ

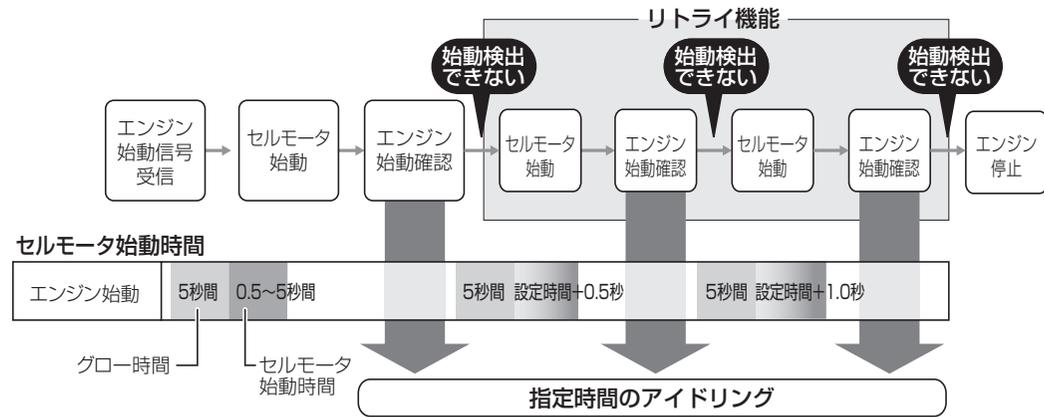
●アイドリング時間表示
アイドリング時間表示は、1分～30分を1分単位で表示します。1分以下の場合は、1分で固定になります。

●車内温度表示
車内温度表示は-20℃～99℃の範囲を1℃単位で表示します。温度が-20℃以下のときは-20℃、99℃以上のときは、99℃で表示します。

リトライ機能とセルモータ始動時間について(リトライ機能ON時のみ)

エンジンが始動できなかったときに、再始動(リトライ)を2回行います。

☛ 21ページ「リトライ機能のON/OFF設定」



※ オルタネータ線を接続した場合、エンジンの始動を検出すると、セルモータを停止します。
 ※ 車種や電装品によっては、エンジンの始動確認ができず、再始動(リトライ)を繰り返す場合があります。このような場合は、オルタネータ線(白線)の接続が必要です。
 ※ 安全機能によりエンジン始動を停止した場合は、再始動(リトライ)は行いません。

メモ

●安全機能とは
 車輛がエンジン始動できる状態であることを確認する機能です。
 (☛ 39ページ「安全機能について」)

リトライ動作を行うと

受信音『ピーピー』が鳴り、リトライ動作をお知らせします。

始動できません
 リトライを開始します

アイドリング時間を延長する

エンジンスターターアイドリング中にエンジン始動操作で残時間プラス10分のアイドリング延長ができます。

ダイレクト操作

1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで **HE** (エンジン) ボタンを押す
 ディスプレイ表示されます。

エンジン操作
 ↓ピッ

※ メニュー操作からもアイドリング延長ができます。
 [エンジン始動] を選択
 (☛ 8ページ参照)

2 ディスプレイが表示中に音『ドレミファン』が鳴るまで **START** (スタート) ボタンを押す
 「エンジン始動」と表示され信号を送信します。

エンジン始動
 ↓ドレミファン

メモ
 アイドリング時間は延長時間も含め、最大30分までとなります。
 アイドリング設定時間を21~29分にしている場合は、延長される時間が短くなります。

アンテナユニットが信号を受信すると、リモコンに信号を送り返します。

アンサーバック受信音『ソファミレド』が鳴り、アイドリング時間の延長とアイドリング残時間を表示します。

アイドリングを延長しました
 あと16分です
 ↓ソファミレド

ご注意

次のような場合は、アイドリング時間を延長することができません。
 ・アイドリング時間設定を30分にしている場合
 ・オートストップ機能を設定している場合 (☛ 26ページ)
 ・アイドリング時間延長操作を1度行っている場合

アイドリング中
 あと24分で終了
 ↓ソファミレド

アイドリング時間の延長ができない場合は、左記のような表示になります。
 受信音『ソファミレド』が鳴り、アイドリング状態とアイドリング残時間を表示します。

エンジンを停止する

ダイレクト操作

1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで **HE** (エンジン) ボタンを押す
 ディスプレイ表示されます。

エンジン操作
 ↓ピッ

2 ディスプレイが表示中に、『ドレミファン』が鳴るまで **STOP** (ストップ) ボタンを押す
 「エンジン停止」と表示され信号を送信します。

エンジン停止
 ↓ドレミファン

アンテナユニットが信号を受信すると、エンジンを停止して、リモコンに信号を送り返します。

アンサーバック受信音『ソミレドレ』が鳴り、車内温度とエンジン停止状態を表示します。

エンジンを停止しました
 車内温度 24℃
 ↓ソミレドレ

メモ

●車内温度表示
 車内温度表示は、-20℃~99℃の範囲を1℃単位で表示します。
 温度が-20℃以下のときは-20℃、99℃以上のときは99℃で表示します。

メニュー操作

エンジンを停止します

① 操作確認音『ピッ』が鳴るまで **HE** (エンジン) ボタンを長押し(約3秒)する。

エンジン操作
 ↓キーレス操作

② [エンジン操作] → **HE** → [エンジン停止] → **HE** の順で操作を行う。

エンジン始動
 エンジン停止
 ↓予約内容変更

エンジン停止

エンジンの状態を確認する

ダイレクト操作

1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで (エンジン) ボタンを押す
ディスプレイ表示されます。



2 ディスプレイが表示中に、『ドレミファソ』が鳴るまで (エンジン) ボタンを押す
[状態確認] と表示され信号を送信します。



アンテナユニットが信号を受信すると、リモコンに信号を送り返します。

アンサーバック受信音『ドレミファソファミレド』が鳴り、アイドリング状態とアイドリング残時間、車内温度を表示します。



別売のハザード制御：A-18SFを接続していると、ハザードランプが3回点滅して、エンジンの始動をお知らせします。

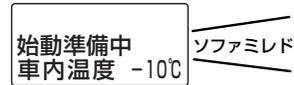
● エンジンが停止中は



● エンジンスターター始動判定中は

メモ

始動判定中とは・・・本機リモコンでエンジン始動操作を行ってから、エンジン始動を行ったアンサーバックが返ってくるまでの間を指します。



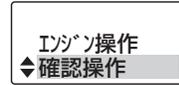
● オートストップ機能設定中の表示は



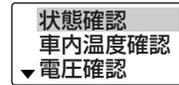
メニュー操作

エンジン機能を確認する

① 操作確認音『ピピッ』が鳴るまで (エンジン) ボタンを長押し (約3秒) する。



② [確認操作] → → [状態確認] → の順で操作を行う。



状態確認

メモ

● アイドリング時間表示

アイドリング時間表示は、1分～30分を1分単位で表示します。1分以下の場合は、1分で固定になります。

● 車内温度表示

車内温度表示は-20℃～99℃の範囲を1℃単位で表示します。温度が-20℃以下のときは-20℃、99℃以上のときは、99℃で表示します。

安全のため、いったんエンジンを停止させた後、必ず車輻本来の操作(キー操作など)でエンジンを始動してください。

車を発車させる

1 リモコン操作でエンジンを停止させる
● 11ページ「エンジンを停止する」

2 車輻本来の操作(キー操作など)でエンジンを始動する



準備 タイマースタート機能をご使用になる前にあらかじめ現在時刻をセットしておく必要があります。

本機の現在時刻は1カ月に3分程度ずれることがあります。タイマースタートの設定に時差が生じ始めたら、再度現在時刻をセットしてください。

現在時刻をセットする

設定モード移行

START(スタート)ボタンとSTOP(ストップ)ボタンを同時に操作
確認音「ビピッ」が鳴るまで押す
設定メニューが表示されます。

設定モード選択

[タイマースタート設定]を選択し、
ENGINE(エンジン)ボタンを押す

→

[現在時刻設定]を選択し、
ENGINE(エンジン)ボタンを押す

現在時刻設定
タイマースタート予約
戻る

START(スタート)ボタン STOP(ストップ)ボタンで項目を選択します。

現在時刻のセット

「曜日」→「時」→「分」の順に設定します。

START(スタート)ボタン…曜日、時刻を戻す
STOP(ストップ)ボタン…曜日、時刻を進める

ENGINE(エンジン)ボタンで「曜日」「時」「分」の各項目を設定します。

ENGINE(エンジン)ボタンを押すごとに項目が変わります。
「曜日」設定→「時」設定→「分」設定→設定完了

ポイント

「曜日」表示は、[日]→[月]→[火]→[水]→[木]→[金]→[土]→[戻]の順になります。[戻]を選択すると前の項目の設定モードに戻ります。
「時」表示は、00～23時の24時間表示になります。
「戻」を選択すると、曜日設定に戻ります。
「分」表示は、00～59分から選択できます。[戻]を選択すると、時刻選択に戻ります。

「分」を設定すると、現在時刻をジャンクションユニットに登録(設定)します。

現在時刻を
月曜07:23に
設定しました

引き続きタイマー
予約を行う

通常モードに戻る

「タイマースタート予約」を選択して ENGINE(エンジン)ボタンで確定します。
15ページ「タイマースタートを設定する」の「設定モード選択」から操作を続けてください。

「設定モード終了」を選択して、ENGINE(エンジン)ボタンで確定します。
通常モードに戻ります。

ご注意

- 設定モード中は20秒以上ボタン操作がないと、設定した内容を無効にして通常モードに戻ります。
- 設定を行う際はリモコンのアンテナを完全に収納していただくか、完全に伸ばした状態で行ってください。

ポイント

- 設定中に START(スタート)ボタンまたは STOP(ストップ)ボタンを押し続けると、押し続けている間、曜日や数値がDOWN/UPします。

タイマースタートを設定する

予約した曜日の時刻に自動でエンジンを始動し、アイドリングを行います。

警告

整備や車検などで車を第三者に預けるときは、必ずタイマーマークが表示されていないことを確認し、リモコンの電池を抜いてください。タイマースタート予約をしていると車検や整備中など思わぬときにエンジンが始動してしまうことがあり、大変危険です。

設定モード移行

START(スタート)ボタンとSTOP(ストップ)ボタンを同時に操作確認
音「ビピッ」が鳴るまで押す
設定メニューが示されます。

※ タイマースタート予約を行う前には、あらかじめ 14ページ「現在時刻をセットする」を行ってください。

設定モード選択

[タイマースタート設定]を選択し、
ENGINE(エンジン)ボタンを押す

→

[タイマースタート予約]を選択し、
ENGINE(エンジン)ボタンを押す

現在時刻設定
タイマースタート予約
戻る

START(スタート)ボタン STOP(ストップ)ボタンで項目を選択します。

予約時刻のセット

「曜日」→「時」→「分」の順に設定します。

START(スタート)ボタン…曜日、時刻を戻す
STOP(ストップ)ボタン…曜日、時刻を進める

ENGINE(エンジン)ボタンで「曜日」「時」「分」の各項目を設定します。

ENGINE(エンジン)ボタンを押すごとに項目が変わります。
「曜日」設定→「時」設定→「分」設定→設定完了

ポイント

「曜日」表示は、[日]→[月]→[火]→[水]→[木]→[金]→[土]→[戻]の順になります。[戻]を選択すると前の項目の設定モードに戻ります。
「時」表示は、00～23時の24時間表示になります。
「戻」を選択すると、曜日設定に戻ります。
「分」表示は、00～59分から選択できます。[戻]を選択すると、時刻選択に戻ります。

「分」を設定すると、予約時刻をジャンクションユニットに登録(設定)します。

タイマーON
火曜07:30
予約しました

「設定モード終了」を選択して、ENGINE(エンジン)ボタンで確定する
通常モードに戻ります。

ご注意

- タイマースタート予約時刻にエンジンが始動している場合(何らかの不具合によってエンジンが始動しなかった場合も含む)は再度タイマースタート予約が必要です。
- タイマースタートで始動しても、リモコンに始動のアンサーバックはありません。
- 設定モード中は20秒以上ボタン操作がないと、設定した内容を無効にして通常モードに戻ります。
- 設定を行う際はリモコンのアンテナを完全に収納していただくか、完全に伸ばした状態で行ってください。

ポイント

- 設定中に START(スタート)ボタンまたは STOP(ストップ)ボタンを押し続けると、押し続けている間、曜日や数値がDOWN/UPします。

前回始動した同じ曜日・時刻にエンジンを始動する

操作メニュー表示
 (エンジン)ボタンを操作確認音「ピピッ」が鳴るまで押し続ける
 操作メニューが表示されます。

メニュー内容選択
 [エンジン操作]を選択し、(エンジン)ボタンを押す
 [タイマースタート予約]を選択し、(エンジン)ボタンを押す
 (スタート)ボタン (ストップ)ボタンで項目を選択します。

タイマースタートを予約する
 [予約する]を選択し、(エンジン)ボタンを押す
 ※[操作取消]を選択し確定すると、操作メニューに戻ります。

予約完了の通知
 タイマースタート予約したことを知らせる
 タイマースタートを予約したことをお知らせすると、通常モードに戻ります。

エンジン始動の予約を取り消す

操作メニュー表示
 (エンジン)ボタンを操作確認音「ピピッ」が鳴るまで押し続ける
 操作メニューが表示されます。

メニュー内容選択
 [エンジン操作]を選択し、(エンジン)ボタンを押す
 [タイマースタート予約]を選択し、(エンジン)ボタンを押す
 (スタート)ボタン (ストップ)ボタンで項目を選択します。

タイマースタート予約を取り消す
 [予約取消]を選択し、(エンジン)ボタンを押す
 ※[操作取消]を選択し確定すると、操作メニューに戻ります。

取消し完了の通知
 タイマースタート予約の取消しを知らせる
 タイマースタート予約を取消したことをお知らせすると、通常モードに戻ります。

前回始動した曜日・時刻を変更してエンジン始動を予約する

予約した内容は、以下の手順で変更することができます。

操作メニュー表示

[H] (エンジン) ボタンを操作確認音『ピピッ』が鳴るまで押し続ける
操作メニューが表示されます。

メニュー内容選択

[エンジン操作] を選択し、[H] [タイマーON
エンジン操作
▼キー操作] → [予約内容変更] を選択し、[H] [エンジン始動
エンジン停止
▲予約内容変更]

[スタート] (スタート) ボタン [STOP] (ストップ) ボタンで項目を選択します。

予約変更時刻のセット

「曜日」→「時」→「分」の順に設定します。

[スタート] (スタート) ボタン…曜日、時刻を戻す
[STOP] (ストップ) ボタン…曜日、時刻を進める

[H] (エンジン) ボタンで「曜日」「時」「分」の各項目を設定します。

[H] (エンジン) ボタンを押すごとに項目が変わります。
「曜日」設定→「時」設定→「分」設定→設定完了

ポイント

「曜日」表示は、[日]→[月]→[火]→[水]→[木]→[金]→[土]→[日]の順になります。[戻] を選択すると前の項目の設定モードに戻ります。
「時」表示は、00～23時の24時間表示になります。
[戻] を選択すると、曜日設定に戻ります。
「分」表示は、00～59分から選択しできます。[戻] を選択すると、時刻選択に戻ります。

ジャンクションユニットに予約変更時刻をセットする

「分」を設定すると、変更した時刻をジャンクションユニットに登録(設定)します。
通常モードに戻ります。

[タイマーON
木曜07:30
予約しました]

ご注意

- 設定モード中は20秒以上ボタン操作がないと、設定した内容を無効にして通常モードに戻ります。
- 設定を行う際はリモコンのアンテナを完全に収納していただくか、完全に伸ばした状態で行ってください。
- タイマースタートで始動してもリモコンに始動のアンサーバックはありません。

ポイント

- 設定中に [スタート] (スタート) ボタンまたは [STOP] (ストップ) ボタンを押し続けると、押し続けている間、曜日や数値がDOWN/UPします。

ターボタイマー機能とは

走行後のアフターアイドルを自動的に行う機能です。
なお、本機はこのターボタイマー機能を使う(ON)使わない(OFF)を設定できます。
アフターアイドルの時間はオート方式です。

●ターボタイマー機能ON時の動作について

ターボエンジン搭載車は、走行後、すぐにエンジンを停止させると、タービンシャフト部の焼き付きを起こす場合があります。ターボタイマー機能はパーキング(P)またはニュートラル(N)にシフトチェンジされると動作し始め、キーを抜いた後も、アフターアイドルを自動的に実行し、エンジンを徐々に冷ましたあと、エンジンを停止させます。

ポイント

キーでエンジン始動後、シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)以外のポジションに1秒以上移動した場合にターボタイマー機能は動作します。
また、ターボタイマー機能は、シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)の位置でないと動作しません。(P・ポジション検出解除)
ただし、P・ポジション検出ができない車種でP・ポジションインジケータランプに接続している場合は、シフトレバーがパーキング(P)の位置のときだけ動作します。シフトポジションを移動したときには動作を停止します。

ご注意

カーラジオのON/OFFに連動してアンテナが昇降する車では、ターボタイマーが働いてエンジンが停止しても、アンテナが降りないことがあります。

●オート方式のアフターアイドル時間

走行時間に合わせて、アフターアイドルの時間が自動的に設定されます。

走行時間	アフターアイドル時間
0分間～10分間	約30秒間
10分間～30分間	約1分間
30分間～1時間	約1分30秒
1時間～2時間	約2分間
2時間以上	約3分間

ポイント

走行時間はシフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)以外の位置に移動した時からの時間をカウントしています。

●アフターアイドルについて

アフターアイドル中に本機リモコンで始動確認操作を行うと、アフターアイドルの残り時間と車内温度を確認できます。
※アフターアイドルの残り時間は、秒単位を切り捨てた1分単位の表示となります。(1分以下は1分表示となります。)

メモ

- アフターアイドル中にリモコンでのエンジン停止の操作、またはシフトチェンジを行うと、エンジンは停止します。
- ターボタイマーのカウントダウンはシフトレバーがパーキング(P)に入ったときから開始されます。そのため実際のアフターアイドル時間と上記の「オート方式のアフターアイドル時間」は異なります。
- キーをOFFにしてからパーキング(P)にシフトチェンジした場合、ターボタイマー機能は動きません。
- プッシュスタート車は、ご使用いただけません。

アイドル終了前予告・終了通知機能

本機で始動した場合のアイドル終了3分前及びアイドル終了時にリモコンへお知らせします。

メモ

- アイドル設定時間を3分以下にしている場合は、アイドル終了3分前通知は行いません。
- アイドル時間の設定を[A(オート)]にしている場合、アイドル終了3分前の通知はされません。

■アイドル終了3分前は

あと3分で
アイドルを終了します

ドレミドレミ

アイドルがあと3分で終了することをお知らせします。

■アイドル終了時

アイドル
終了しました
車内温度 16℃

ソミレドレ

アイドルが終了したことと車内温度をお知らせします。

ご注意

リモコンにエンジン始動のアンサーバックが受信できなかった場合は、アイドル終了前予告・終了通知がONであってもリモコンへの通知は行われません。
次の操作を行った場合は、アイドル終了前予告・終了通知を受信することができます。

- エンジン状態確認操作を行った場合
- アイドル時間延長操作を行った場合

エンジンスターター機能の項目と内容

本機は車種や季節、気候にあわせて、最適にご使用いただくために、各種設定機能を設けてあります。

- ご注意**
- 「設定には専門知識が必要です」の記載がある項目は、不用意に設定を変更なさらないようお願いいたします。誤った設定は本機でエンジンが始動できなくなるだけでなく、セルモータ焼損など車輛の走行に支障をきたす場合がございます。設定変更が必要な場合は、本機取り付け店にご相談ください。
 - セキュリティ機能を使用している場合は、セキュリティを解除してから変更を行ってください。

：工場出荷時

アイドリング時間の設定

エンジンスターターで始動した場合のアイドリング時間を1分～30分の間(1分単位)または、「A(オート)」で設定できます。
「A(オート)」にした場合は、オートストップ機能が働きます。(● 26ページ「オートストップ機能」)
※工場出荷時は、「10分」に設定されています。

アイドリング時間設定
セル時間設定
温度設定

セル時間の設定 (設定には専門知識が必要です)

車にあった、セル時間を0.5秒～5秒の間(0.1秒単位)で設定できます。セルモータのひきずりがある場合にはセル時間を短めに、エンジンが始動しにくい場合には長めに設定してください。設定には十分ご注意ください。
※工場出荷時は、「1.0秒」に設定されています。

アイドリング時間設定
セル時間設定
温度設定

ポイント

オルタネータ線(白線)を接続している場合は、セル時間内にエンジンの始動検出ができると、セルモータを停止します。

メモ

プッシュスタート車の場合は、変更することができません。

オートストップ機能の温度設定

オートストップ機能を使用する場合(アイドリング時間の設定を「A(オート)」にした場合)のアイドリング停止温度を10℃～40℃の間(2℃単位)で設定することができます。(● 26ページ「オートストップ機能」)
※工場出荷時は、「24℃」に設定されています。

アイドリング時間設定
セル時間設定
温度設定

アイドリング終了前予告・終了通知機能のON/OFF設定

本機で始動した場合のアイドリング終了3分前やアイドリング終了時にリモコンへ通知を行います。(● 19ページ「アイドリング終了前予告・終了通知機能」)
※工場出荷時は、「使用する」に設定されています。

設定値	設定表示
使用する	ON
使用しない	OFF

メモ

アイドリング時間の設定を「A(オート)」にしている場合、アイドリング終了3分前の通知はされません。

セル時間設定
温度設定
アイドリング通知

ステータスLEDの点滅設定

本機待ち受け中にアンテナユニットのステータスLEDを点滅させる／点滅させないの選択ができます。
ステータスLEDの点滅により、カーセキュリティが動作しているようなイメージを与え、防犯効果が期待できます。
※工場出荷時は、「点滅させる」に設定されています。

設定値	設定表示
点滅させる	ON
点滅させない	OFF

ポイント

待ち受け中とは、本機でエンジンの始動ができる状態を指します。

温度設定
アイドリング通知
威嚇LED設定

ターボタイマー機能のON/OFF設定

ターボタイマー機能のON/OFFが設定できます。(● 19ページ「ターボタイマー機能」)
※工場出荷時は、「使用しない」に設定されています。

設定値	設定表示
使用する	ON
使用しない	OFF

メモ

プッシュスタート車の場合は、変更することができません。

アイドリング通知
威嚇LED設定
ターボタイマー設定

リトライ機能のON/OFF設定

本機でエンジン始動しなかったときに、再始動(リトライ)を2回行います。
※工場出荷時は、「リトライする」に設定されています。

設定値	設定表示
リトライする	ON
リトライしない	OFF

メモ

プッシュスタート車の場合は、「リトライしない」に固定され、変更することができません。

威嚇LED設定
ターボタイマー設定
リトライ設定

グロー時間の設定

一部のディーゼル車などで、5秒以上のグロー時間(1秒～10秒の間で、1秒単位)を必要とする場合は設定してください。
リモコン始動などで問題がない場合は、設定を変更しないでください。
※工場出荷時は、「5秒」に設定されています。

ご注意

グロー時間を6秒以上に設定した場合、オルタネータ線の接続が必要です。

メモ

プッシュスタート車の場合は、変更することができません。

ターボタイマー設定
リトライ設定
グロー時間設定

アイドリング中のドア開検出動作設定 (別売のドア検出線：A-60の接続の場合のみ)

本機アイドリング中にドア開を検知した場合に、アイドリングを停止することができます。
※アフターアイドリング中は機能しません。
※工場出荷時は、「アイドリング停止」に設定されています。

設定値	設定表示
アイドリング停止	ON
アイドリング継続	OFF

エンジン始動の表示切替設定

エンジン始動及びエンジン停止時のアンサーバック表示をアニメーションまたは、文字に変更する事ができます。
※工場出荷時は、「アニメーション」に設定されています。

設定値	設定表示
アニメーション	アニメ
文字	文字

グロー時間設定
ドア開停止設定
始動表示切替

リモコン表示の時間設定

リモコン操作及びアンサーバックを受信した時のリモコンに表示される時間を設定することができます。
※工場出荷時は、「5秒」に設定されています。

設定値	設定表示
3秒	3
5秒	5

ドア開停止設定
始動表示切替
表示時間設定

リモコンからエンジンスターター機能を設定する

設定モードにする

START (スタート) ボタンと STOP (ストップ) ボタンを同時に確認音「ピッ」が鳴るまで押し続ける
設定モードになります。
※ [設定モード終了] を選択し確定すると、通常モードに戻ります。

タイマースタート設定
設定1
▼設定2

START (スタート) ボタンを押して [設定1] を選択し、ENGINE (エンジン) ボタンを押す
リモコンから確認音「ピッ」が鳴ります。

タイマースタート設定
設定1
▼設定2

設定項目の選択

START (スタート) ボタンを押し、設定したい項目を選択する
START (スタート) ボタン…項目を進む
STOP (ストップ) ボタン…項目を戻る
設定項目で「戻る」を選択すると、設定モードに戻ります。
※ 右画面は、「アイドル時間設定選択」の表示です。

アイドル時間設定
セル時間設定
▼温度設定

	アイドル時間	6回	リトライ設定
1回	セル時間設定	7回	グロー時間設定
2回	温度設定	8回	ドア開停止設定
3回	アイドル通知	9回	始動表示設定
4回	威嚇LED設定	10回	表示時間設定
5回	ターボタイマー設定	11回	戻る (設定モードに戻る)

設定項目の確定

ENGINE (エンジン) ボタンを押す
ジャンクションユニットと通信を行い、設定値を読み込みます。
※ 右の画面は、「アイドル時間」設定値の表示です。

アイドル時間設定
10分
▲セッテイ エカクテイ

設定値の選択

START (スタート) ボタンまたは STOP (ストップ) ボタンを押して、時間の増減や機能のON/OFFを変更する
START (スタート) ボタン 進む
STOP (ストップ) ボタン 戻る
設定値で「戻る」を選択すると、設定項目に戻ります。
※ 設定中に START (スタート) ボタンまたは STOP (ストップ) ボタンを押し続けると、押し続けている間、数値がDOWN/UPします。

アイドル時間	1分～30分の間で1分単位	A(オート)	戻る
セル時間設定	0.5秒～5秒の間で0.1秒単位	戻る	
温度設定	10℃～40℃の間で2℃単位	戻る	
アイドル通知	ON	OFF	戻る
威嚇LED設定	ON	OFF	戻る
ターボタイマー設定	ON	OFF	戻る
リトライ設定	ON	OFF	戻る
グロー時間設定	1秒～10秒の間で1秒単位	戻る	
ドア開停止設定	ON	OFF	戻る
始動表示設定	アニメ	文字	戻る
表示時間設定	3秒	5秒	戻る

設定値の確定

ご希望の設定値を選択したら、ENGINE (エンジン) ボタンを押す
ジャンクションユニットに設定内容を登録します。
※ [設定しました] と表示されます。

設定しました
設定継続
設定モード終了

設定を終了する場合

START (スタート) ボタンを押して [設定モード終了] を選択し、ENGINE (エンジン) ボタンを押す
設定しました
設定継続
設定モード終了

通常モードに戻ります

他の設定項目を変更する場合

[設定継続] が選択されていることを確認し、ENGINE (エンジン) ボタンを押す
設定しました
設定継続
設定モード終了

設定モードに戻ります

ご注意

- 設定モード中は20秒以上ボタン操作がないと、リモコンからブザー音「ピー」が鳴り、設定した内容を無効にして通常モードに戻ります。
- 設定を行う場合は、リモコンのアンテナを完全に伸ばした状態または、収納した状態で行ってください。
- プッシュスタート車の場合、変更できない項目があります。変更できない項目を設定すると、「設定不要」と表示されます。

エンジンスターター動作の項目と内容

- ご注意**
- 「設定には専門知識が必要です」の記載がある項目は、不用意に設定を変更なさらないようお願いいたします。誤った設定は本機でエンジンが始動できなくなるだけでなく、セルモータ焼損など車輛の走行に支障をきたす場合がございます。設定変更が必要な場合は、本機取り付け店にご相談ください。
 - セキュリティ機能を使用している場合は、セキュリティを解除してから変更を行ってください。

：工場出荷時

セルモータ停止タイミング検出方法選択(設定には専門知識が必要です)

セルモータ制御
始動判定
▼IG設定

セルモータ停止タイミングの検出方法を選択できます。セル時間を設定してもセルモータの引きずりが改善されない場合に、設定を「電圧検出」に変更してご使用ください。セルモータの引きずりが無い場合は、設定変更しなくてください。

設定値	設定表示
電圧検出	電圧検出
オルタネータ検出	オルタ検出
検出しない	検出しない

※工場出荷時は、「オルタネータ検出」に設定されています。

ポイント

工場出荷時の設定([オルタネータ検出]を選択)をしている場合で、オルタネータ線が接続されていないときは、セル時間(● 20ページ「セル時間の設定」)で、セルモータを停止します。「電圧検出」選択時は、オルタネータ線の接続は不要です。

ご注意

一部の車輛ではセルモータ停止タイミング検出を「電圧検出」に設定しても、セルモータの引きずりを改善できない場合があります。このような場合は設定を「オルタネータ検出」に戻して、オルタネータ配線を行ってください。

メモ

プッシュスタート車は変更できません。

始動判定方法選択(設定には専門知識が必要です)

セルモータ制御
始動判定
◆IG設定

本機でエンジン始動後、エンジン始動判定方法を選択できます。エンジンが正常に始動したにもかかわらず、1分程度で停止してしまう場合に、設定を「特殊判定」に変更してご使用ください。

設定値	設定表示
「判定する」	各検出機能によりエンジンの停止を検知すると、アクセサリ電源などを停止状態(電源をOFF)にします。
「特殊判定」	エンジン始動の判定を特殊モードで判定します。

※工場出荷時は、「判定する」に設定されています。

ご注意

「特殊判定」を選択したときは、エンジンの始動ができなかった場合でもアクセサリ電源などが停止状態(電源をOFF)にならないことがありますので、頻りにエンジンが始動しない状態が続く場合は、車輛のバッテリー上がりにご注意ください。

IG設定(設定には専門知識が必要です)

セルモータ制御
始動判定
◆IG設定

特殊な場合(一部のホンダ車など)を除き、設定の必要はありません。設定に際しては弊社サービス窓口にお問い合わせください。

設定値	設定表示
IG1	IG1
IG2	IG2
IG1+IG2	IG1+2

※工場出荷時は、「IG1+IG2」に設定されています。

メモ

プッシュスタート車の場合は、「IG1+IG2」に固定され、変更することができません。

エンジンスターター特殊制御の設定(設定には専門知識が必要です)

始動判定
IG設定
◆特殊制御

一部の車輛においてセルモータの制御が不能となることがあります。このような車輛において使用する特殊制御のため、設定に際しては弊社サービス窓口にお問い合わせください。

設定値	設定表示
設定しない	OFF
設定する	ON

※工場出荷時は、「設定する」に設定されています。

メモ

プッシュスタート車の場合は、「設定しない」に固定され、変更することができません。

オールリセット

IG設定
始動判定
◆オールリセット

エンジンスターターの設定(● 20~25、34~35ページ)をすべて工場出荷時の設定に戻します。

設定値	設定表示
工場出荷時に設定を戻す	リセットする
工場出荷時に設定を戻さない	戻る

リモコンからエンジンスターター動作を設定する

設定モードにする

START(スタート)ボタンと STOP(ストップ)ボタンを同時に確認音「ピッ」が鳴るまで押し続ける設定モードになります。
※「設定モード終了」を選択し確定すると、通常モードに戻ります。

タイマースタート設定
設定1
▼設定2

START(スタート)ボタンを押し、[設定3]を選択し、HE(エンジン)ボタンを押すリモコンから確認音「ピッ」が鳴ります。

設定1
設定2
◆設定3

設定項目の選択

START(スタート)ボタンを押し、設定したい項目を選択する

START(スタート)ボタン…進む STOP(ストップ)ボタン…項目を戻る

設定項目で「操作取消」を選択すると、設定モードに戻ります。
※右画面は、「セルモータ制御」選択の表示です。

セルモータ制御
始動判定
▼IG設定

	セルモータ制御	3回	特殊判定
1回	始動判定	4回	オールリセット
2回	IG設定	5回	操作取消(設定モードに戻る)

設定項目の確定

HE(エンジン)ボタンを押す

ジャンクションユニットと通信を行い、設定値を読み込みます。
※右画面は、「セルモータ制御」(オルタ検出)の表示です。

セルモータ制御
オルタ検出
▼セッテイ エカクテイ

設定値の選択

START(スタート)ボタンまたは STOP(ストップ)ボタンを押して、機能の設定やON/OFFを変更する

START(スタート)ボタン…進む STOP(ストップ)ボタン…戻る

設定値で「戻る」を選択すると、設定項目に戻ります。

セルモータ制御	電圧検出	オルタ検出	検出しない	戻る
始動判定	判定する	特殊判定	戻る	
IG設定	IG1	IG2	IG1+2	戻る
特殊判定	OFF	ON	戻る	
オールリセット	リセットする	戻る		

設定値の確定

ご希望の設定値を選択したら、HE(エンジン)ボタンを押す

ジャンクションユニットに設定内容を登録します。
※「設定しました」と表示されます。

設定しました
設定継続
設定モード終了

設定を終了する場合

START(スタート)ボタンを押し「設定モード終了」を選択し、HE(エンジン)ボタンを押す

設定しました
設定継続
設定モード終了

通常モードに戻ります

ご注意

- 設定モード中は20秒以上ボタン操作がないと、リモコンからブザー音「ピー」が鳴り、設定した内容を無効にして通常モードに戻ります。
- 設定を行う場合は、リモコンのアンテナを完全に伸ばした状態または、収納した状態で行ってください。
- プッシュスタート車の場合、変更できない項目があります。変更できない項目を設定すると、「設定不要」と表示されます。

他の設定項目を変更する場合

「設定継続」が選択されていることを確認し、HE(エンジン)ボタンを押す

設定しました
設定継続
設定モード終了

設定モードに戻ります

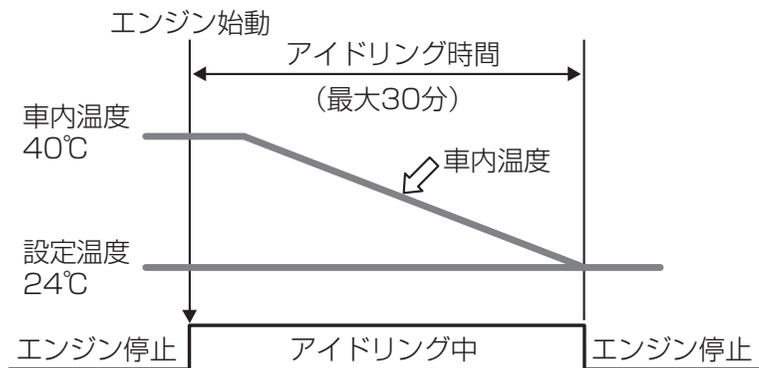
オートストップ機能について

アイドリング設定時間を[A(オート)]に設定すると、車内温度が設定された温度(10℃~40℃間を2℃ごとに変更可能)になるまでアイドリングを継続します。

メモ

- アイドリング時間は最大30分までとなります。

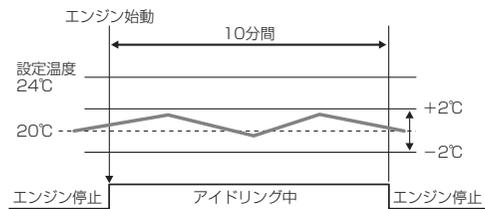
オートストップ機能の動作図



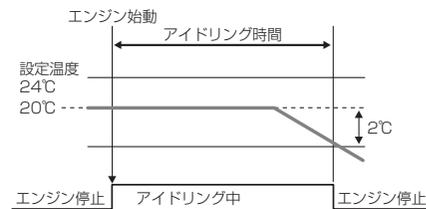
注意

- 以下のような場合は、設定温度になっていなくてもアイドリングを停止いたします。
- 車内温度が10分間、温度変化がない場合。(エンジン始動時の車内温度が0~40℃時のみ)
 - 車内温度が設定温度に対して、2℃以上、遠ざかった場合。
 - エンジン始動時の車内温度が設定温度に対して±2℃以内の場合は、アイドリング時間が5分で固定されます。

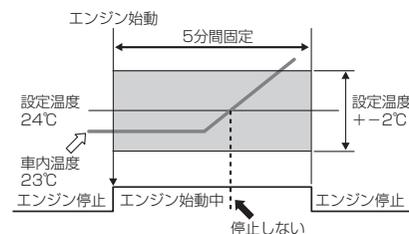
10分間、温度変化がない場合



2℃以上遠ざかった場合



エンジン始動の車内温度と設定温度が2℃以内の場合



設定を確認する

現在のエンジンスターターの設定内容を確認することができます。(8ページ参照)

メニュー操作

- 1 操作確認音『ピピッ』が鳴るまで (エンジン) ボタンを長押し(約3秒)する ピピッ
- 2 [確認操作] → → [設定確認] → の順で操作を行う 設定確認



アンテナユニットが信号を受信すると、リモコンに信号を送り返します。
※リモコンに表示されるまでに数十秒かかる場合があります。

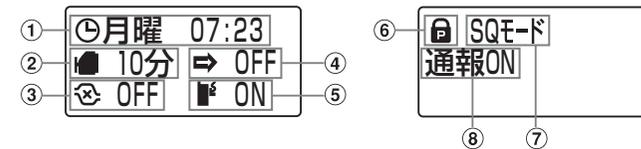
現在の車内温度を表示します。

<タイマー予約OFF時> <タイマー予約ON時> <アイドリング設定オート時>

ボタンを押す

※ESモード/SQモード時のみ表示されます。

表示内容一覧



①		タイマー予約 されている曜日と時間を表示(タイマー予約設定時のみ)
②		アイドリング設定時間を表示
		オートストップ機能の設定温度を表示(アイドリング時間設定[A(オート)]時)
③		ターボタイマー機能のON/OFFを表示
④		リトライ機能のON/OFFを表示
⑤		アイドリング終了前予告・終了通知機能のON/OFFを表示
⑥		セキュリティ機能が警戒中であることをお知らせする表示※
⑦	SQモード	現在設定されているセキュリティ機能を表示※
⑧	通報	セキュリティの通報機能のON/OFFを表示※

※ESモード/SQモード設定時のみ表示します。

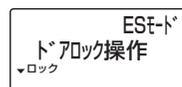
本機は不正なエンジン始動を検出するIG(イグニッション)ON機能を内蔵しています。
また、別売のドア検出(A-60)の接続やAguilasESとの連動による機能拡張が可能です。
工場出荷時は、「IG警戒OFF」に設定されています。

IG(イグニッション)ON機能を使う [ESモード]

「IG警戒ON」設定にすると、本機リモコンでのドアロック操作に連動して、不正なエンジン始動(イグニッションON)を検知することができます(アンロック操作で警戒が解除されます)。エンジン始動を検知すると、本機リモコンに通報を行います。「IG警戒ON」設定時は、リモコンに[ESモード]と表示します。(● 34ページ「セキュリティ機能の設定項目と内容」)
別売のハザード制御：A-18SFを接続していると、異常を検知した場合にハザードランプを点滅させることができます。
また、別売A-60(ドア検出線)を接続することにより、ドアの開放も検知することが可能になり、本機リモコンへ通報を行います。
※本機アイドル中は、エンジン始動を検知することができません。

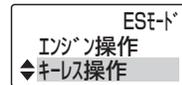
ダイレクト操作

1 操作確認音「ピッ」が鳴るまで (ロック) ボタンを押す
ディスプレイ表示されます。



メニュー操作
IG(イグニッション)ON機能を使う

① 操作確認音「ピッ」が鳴るまで (エンジン) ボタンを長押し(約3秒)する。



② [キーレス操作] → → [ドアロック] → の順で操作を行う。



2 ディスプレイ表示中に、「ドレミファン」が鳴るまで (ロック) ボタンを押す
[ドアロック]と表示され信号を送信します。



アンテナユニットが信号を受信すると、リモコンに信号を送り返します。

アンサーバック受信音「ソファミレド」が鳴り、「ドアをロックしました」と表示され、ドアのロック(施錠)およびIG(イグニッション)警戒をお知らせします。



別売のハザード制御：A-18SFを接続していると、ハザードランプが1回点滅して、ドアロックおよびIG(イグニッション)警戒をお知らせします。(アンロックした場合は、ハザードランプを2回点滅させます)

メモ

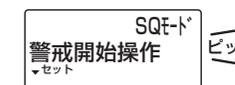
警戒中は、リモコンに マークが付きます。

AguilasESと連動する [SQモード]

別売セキュリティユニット(AguilasES)を取り付けた場合、「SQ連動」に設定すると、本機リモコンのドアロック操作で警戒を開始(アンロックで警戒解除)することが可能です。
また、セキュリティユニットで異常を検知した場合、本機リモコンに通報を行います。「SQ連動」に設定すると、リモコンに[SQモード]と表示します。(● 34ページ「セキュリティ機能の設定項目と内容」)

ダイレクト操作

1 操作確認音「ピッ」が鳴るまで (ロック) ボタンを押す
ディスプレイ表示されます。

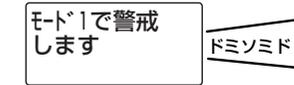


2 ディスプレイ表示中に、「ドミソミド」が鳴るまで (ロック) ボタンを押す
[警戒開始]と表示され信号を送信します。



アンテナユニットが信号を受信すると、リモコンに信号を送り返します。

アンサーバック受信音「ドミソミド」が鳴り、ドアのロック(施錠)と警戒をお知らせします。



メモ

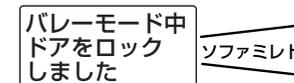
警戒中は、リモコンに マークが付きます。

ご注意

セキュリティ警戒中にモード変更を行うことはできません。

● バレーモード中は

受信音「ソファミレド」が鳴り、バレーモード中であることとドアロック(施錠)をお知らせします。



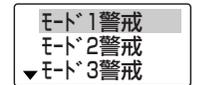
メニュー操作

AguilasESと連動する

① 操作確認音「ピッ」が鳴るまで (エンジン) ボタンを長押し(約3秒)する。



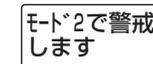
② [キーレス操作] → → [モード1警戒] → の順で操作を行う。



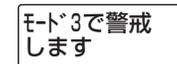
メモ

サイレントを選択すると、作動音を鳴らさずに、警戒開始(警戒解除)を行うことができます。

● メニュー操作により、「モード2警戒」や「モード3警戒」を選択した場合は、以下のアンサーバック表示になります。



<モード2警戒の場合>



<モード3警戒の場合>

ダイレクト操作でAguilasESの警戒モードを変更する

本機リモコンでの警戒開始操作は、モード1警戒での警戒となります。警戒モードを変更する場合は、警戒を開始するまでのスタンバイ時間中にもう一度、警戒開始操作を行うとモード2警戒で警戒を開始できます。また、スタンバイ中に警戒開始操作を2回行うと、モード3警戒で警戒を開始できます。

※警戒モードについて、詳しくはセキュリティユニット付属の取扱説明書をご覧ください。

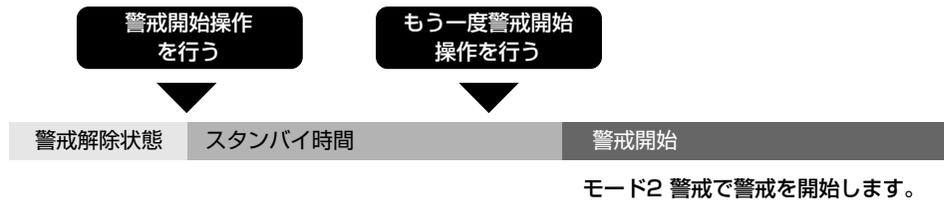
ご注意

セキュリティ警戒中にモード変更を行うことはできません。

モード1で警戒する場合



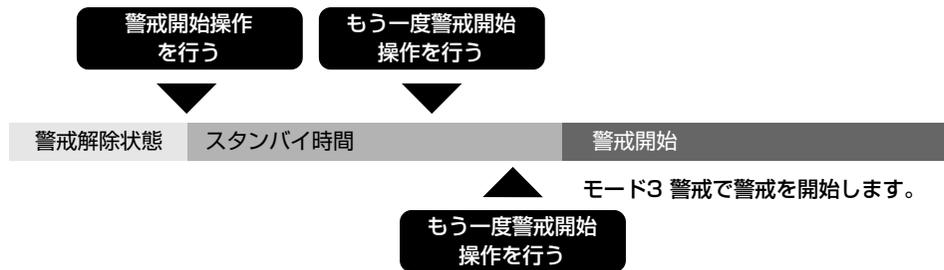
モード2で警戒する場合



●モード2 警戒にセットされると

モード2で警戒
します

モード3で警戒する場合



●モード3警戒にセットされると

モード3で警戒
します

通報表示

異常の検知と通報時のディスプレイ表示

IG(イグニッション)ON機能やAguilasESが警戒中に異常を検知すると本機リモコンに通報し、以下の動作をします。ただし、IG(イグニッション)ON機能は、エンジン始動とドア開放(別売ドア検出の接続が必要)のみの通報になります。

メモ

本機アイドリング中に警報動作が生じた場合は、アイドリングを停止いたします。

衝撃の検知

衝撃を検知すると、衝撃の強さにより、弱い衝撃の警告通知、強い衝撃の警報通知を行います。

弱い衝撃を検知したとき

警告
弱い衝撃を検知
しました

通信音「ビッ」が鳴り、表示が点滅します。

強い衝撃を検知したとき

警報
強い衝撃を検知
しました

通信音「ピーピー」が30秒間鳴り、表示が点滅します。

エンジン始動検知

エンジン始動(イグニッションON)を検知した場合、警報通知を行います。

警報
エンジン始動を
検知しました

通信音「ピーピー」が30秒間鳴り、表示が点滅します。

警報入力(トランク・ボンネット開)検知

警報入力(トランク・ボンネット開)を検知した場合、警報通知を行います。

警報
異常を検知
しました

通信音「ピーピー」が30秒間鳴り、表示が点滅します。

ドア開放検知

ドアの開放を検知した場合、警報通知を行います。

警報
ドアが開けられ
ました

通信音「ピーピー」が30秒間鳴り、表示が点滅します。

リモコンに通報を行わない場合（※警戒中のみ変更可能）

AguilasES併用時やIG警戒ON時に異常を検知しても、本機リモコンに通報を行わないようにすることができます。

ダイレクト操作

1 操作確認音「ピッ」が鳴るまで **ON START** (スタート) ボタンを押す
メニュー画面を表示します。



2 メニュー画面が表示中に、**STOP** (ストップ) ボタンを押す
リモコンへの通報をOFFにしたことをお知らせし、**P** が **ON** になります。



P : 異常検知の通報機能ON設定時
ON : 異常検知の通報機能OFF設定時

メモ

通報は、警戒を開始するたびに「ON」設定されます。

通報音・警報音の停止

リモコンの通報音・車輛の警報音は、次の手順で停止できます

通報音と警報音の停止操作	通報音のみ停止する
<p>警報音が鳴動中に ON START (スタート) ボタンを押し、続けてもう一度 ON START (スタート) ボタンを押す</p>	<p>ON START (スタート) ボタンを押す</p>
<p>メモ 通報機能を「OFF」にしている場合は、通報機能が「ON」に設定されます。リモコンに通報を行わない場合は、再度、通報機能を「OFF」に設定してください。（※上記「リモコンに通報を行わない場合」）</p>	

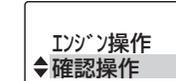
警戒状態の確認操作を行う (SQモード時のみ表示)

現在の警戒状態を確認することができます。

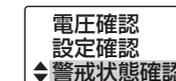
(※ 8ページ参照)

メニュー設定

1 操作確認音「ピピッ」が鳴るまで **HE** (エンジン) ボタンを長押し(約3秒)する



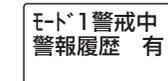
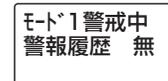
2 [確認操作] → **HE** → [警戒状態確認] → **HE** の順で操作を行う



アンテナユニットが信号を受信すると、リモコンに信号を送り返します。

現在の警戒状況及び警報履歴を表示します。

<警報履歴がない場合> <警報履歴がある場合> <警戒解除中の場合>



メモ

- 警報履歴は、警戒中に強衝撃、ドアの開放、エンジン始動、警報入力を検知した場合に履歴として残ります。警戒を解除したときに、履歴は消去されます。
- 警告は履歴として残りません。

セキュリティ機能の設定項目と内容

ご注意

セキュリティ機能を使用している場合は、セキュリティを解除してから変更を行ってください。

IG警戒の設定

IG警戒ON
IG警戒OFF
▼SQ連動

本機リモコンでドアロック操作を行うことにより、イグニッションONを警戒状態とします。また、別売ドア検出線：A-60を接続している場合は、車輛のドア開も検知することができます。アンロック操作を行うことにより、警戒を解除します。

- [IG警戒ON]に設定すると、リモコンに「ESモード」と表示されます。また、警戒中は を表示します。

※工場出荷時は、[IG警戒OFF]に設定されています。
[IG警戒OFF]は、セキュリティ機能を使用しない設定になります。

- 28ページ「IG(イグニッション)ON機能を使う」

セキュリティモード

IG警戒ON
IG警戒OFF
▼SQ連動

別売セキュリティユニット(AguilasES)を取り付けた場合の操作モードに変更します。

- [SQ連動]にすると、本機リモコンのドアロック操作で警戒を開始(アンロックで警戒解除)することが可能です。
- [SQ連動]に設定すると、リモコンに[SQモード]と表示されます。また、警戒中は を表示します。

※セキュリティユニットを取り付けていない場合は、モードを変更しないでください。

- 29ページ「AguilasESと連動する」

リモコンからセキュリティ機能を設定する

設定モードにする

(スタート) ボタンと (ストップ) ボタンを同時に確認音「ピッ」が鳴るまで押し続ける

設定モードになります。

※[設定モード終了]を選択し確定すると、通常モードに戻ります。

タイマースtart設定
設定1
▼設定2

(スタート) ボタンを押し、[設定2]を選択し、 (エンジン) ボタンを押す

リモコンから確認音「ピッ」が鳴ります。

タイマースtart設定
設定1
▼設定2

設定項目の選択

(スタート) ボタンを押し、設定したい項目を選択する

※右の画面は、[IG警戒ON]の表示です。

IG警戒ON
IG警戒OFF
▼SQ連動

IG警戒ONにする

IG警戒OFFにする

SQ連動する

(スタート) ボタンを押す [IG警戒OFF] を選択する

IG警戒ON
IG警戒OFF
▼SQ連動

(スタート) ボタンを押して [SQ連動] を選択する

IG警戒ON
IG警戒OFF
▼SQ連動

(エンジン) ボタンを押す

ジャンクションユニットに設定を登録します。

IG警戒ONに設定されたことをお知らせします
[ESモード]と表示されます。

ESモード
IG警戒ONに
設定しました

IG警戒OFFに設定されたことをお知らせします

IG警戒OFFに
設定しました

SQに設定
SQ連動に設定されたことをお知らせします
[SQモード]と表示されます。

SQモード
SQ連動に
設定しました

ドアをロックする

ご注意 別売のキーレスエントリー：A-17SFの接続が必要です。

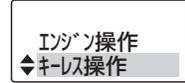
ダイレクト操作

1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで、 (ロック) ボタンを押す
ディスプレイ表示されます。

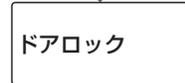
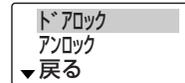


メニュー操作
ドアをロックする

① 操作確認音『ピッ』が鳴るまで
 (エンジン) ボタンを長押し
(約3秒) する。



② [キーレス操作] →  → [ドアロック] →  の順で操作を行う。

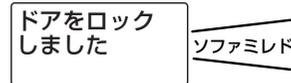


2 ディスプレイ表示中に、『ドレミファソ』が鳴るまで、 (ロック) ボタンを押す
[ドアロック]と表示され信号を送信します。



アンテナユニットが信号を受信すると、リモコンに信号を送り返します。

アンサーバック受信音『ソファミレド』が鳴り、「ドアをロックしました」と表示され、ドアのロック(施錠)をお知らせします。



別売のハザード制御：A-18SFを接続していると、ハザードランプが1回点滅して、ドアロック(施錠)をお知らせします。

ご注意 エンジンキーでアイドリングを行っているときは、本機のリモコンでドアロックできません。

注意

- ・車のバッテリー上がり、本機リモコンの電池切れ、または故障などの場合、リモコンでドアを開けることができなくなります。車のキーは必ず携帯してください。
- ・半ドア状態でドアロックした場合は、ドアを完全にロックできない場合があります。
- ・本機のリモコンは、ダブルアクション操作により誤作動を防止していますが、純正キーレスエントリーシステムに比べ電波到達距離が長いので、リモコン操作には十分に注意してください。

ドアをアンロックする

ご注意 別売のキーレスエントリー：A-17SFの接続が必要です。

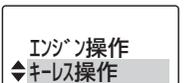
ダイレクト操作

1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで、 (アンロック) ボタンを押す
ディスプレイ表示されます。



メニュー操作
ドアをアンロックする

① 操作確認音『ピッ』が鳴るまで
 (エンジン) ボタンを長押し
(約3秒) する。



② [キーレス操作] →  → [アンロック] →  の順で操作を行う。

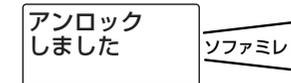


2 ディスプレイ表示中に、『ドレミファソ』が鳴るまで、 (アンロック) ボタンを押す
[アンロック]と表示され信号を送信します。



アンテナユニットが信号を受信すると、リモコンに信号を送り返します。

アンサーバック受信音『ソファミレド』が鳴り、「アンロックしました」と表示され、ドアのアンロック(解錠)をお知らせします。



別売のハザード制御：A-18SFを接続していると、ハザードランプが2回点滅して、ドアのアンロック(解錠)をお知らせします。

ご注意 エンジンキーでアイドリングを行っているときは、本機のリモコンでアンロックできません。

注意

- ・車のバッテリー上がり、本機リモコンの電池切れ、または故障などの場合、リモコンでドアを開けることができなくなります。車のキーは必ず携帯してください。
- ・本機のリモコンは、ダブルアクション操作により誤作動を防止していますが、純正キーレスエントリーシステムに比べ電波到達距離が長いので、リモコン操作には十分に注意してください。
- ・本機は、オートリロック機能*を搭載していませんので、リモコンでアンロック後、乗車しない場合は、ドアのロック状態の確認をお願いします。
*ドアアンロック後、ドアを開けない場合、自動的にドアロック(リロック)する機能

車内温度を確認する

現在の車内温度を確認することができます。

(☛ 8ページ参照)

メニュー設定

1 操作確認音「ピピッ」が鳴るまで (エンジン) ボタンを長押し(約3秒)する

エンジン操作
◆確認操作

2 [確認操作] → → [車内温度確認] → の順で操作を行う

状態確認
車内温度確認
◆電圧確認

メモ

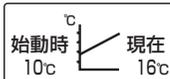
●車内温度表示
車内温度表示は、-20℃~99℃の範囲を1℃単位で表示します。温度が-20℃以下のときは-20℃、99℃以上のときは99℃で表示します。



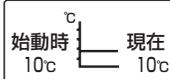
アンテナユニットが信号を受信すると、リモコンに信号を送り返します。

現在の車内温度を表示します。

●アイドリング中に温度変化があった場合



●アイドリング中に温度変化がない場合



●エンジン停止中



バッテリー電圧を確認する

バッテリーの電圧状態を確認することができます。

(☛ 8ページ参照)

メニュー設定

1 操作確認音「ピピッ」が鳴るまで (エンジン) ボタンを長押し(約3秒)する

エンジン操作
◆確認操作

2 [確認操作] → → [電圧確認] → の順で操作を行う

状態確認
車内温度確認
◆電圧確認



アンテナユニットが信号を受信すると、リモコンに信号を送り返します。

現在のバッテリー電圧を表示します。

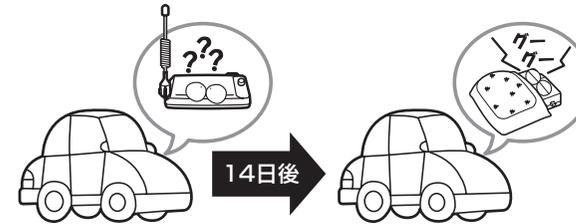
※電圧表示は、0.1V~18.4Vの間を0.1V単位で表示します。



スリープ機能について

車を使用しない状態が14日間以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能が働きます。スリープ機能が働くと、本機によるエンジン始動はできません。

スリープ機能を解除するときは、1度キーを使ってエンジンを始動させてください。



本機を長期間使用しないときは、リモコンの電池を抜いておきます。

●バッテリーについて

車のバッテリーの性能が低下しているときは、キーで始動させる場合に比べ、リモコンでのエンジン始動ができにくくなります。このようなときはバッテリーを充電するか、新しいものと交換してください。

メモ

- 寒冷地では、オルタネータ線を接続し、バッテリーも大型のものに交換することをおすすめします。
- 車のバッテリー交換を行った場合は再度P・ポジション検出が必要です。☛ 42ページ「パーキング(P)・ポジション検出」

安全機能について

本機には、次の安全機能があります。

●P・ポジション検出

シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)ポジション以外の場合は、エンジンの始動やターボチャージャー機能の動作はできません。また、リモコンによる始動後、キーを差し込んだ状態で(ONポジションにキーを回さないまま)シフトチェンジすると、エンジンが停止します。



※一部の車種では、P・ポジション検出のできないものや、できないものがあります。このような場合には、フットブレーキまたはP・ポジションインジケータランプへの接続が必要です。接続しないと、本機は動作しません。フットブレーキに接続した場合は、フットブレーキを踏むとエンジンが停止します。またP・ポジションインジケータランプに接続した場合には、シフトレバーがパーキング(P)の位置以外ではエンジンを始動できません。

●コンライトキャンセル機能

(別売のA-60を使用してコンライト信号線に接続した場合のみ)
オートライト機能装備車でオートライト設定中でも、アイドリング終了後にライトを消灯させ、バッテリー上がりを防ぐことができます。

※一部の車種において、コンライトキャンセル機能が正常に働かない場合があります。

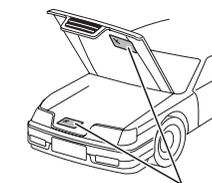
●ドア検出

(別売のA-60を使用してドア開信号線(ドア閉:12V、ドア開:0V)に接続した場合のみ)

ドア開停止設定を「アイドリング停止」に設定すると、エンジンスターター動作中にドアを開けるとエンジンが停止します。(アフターアイドリング中は機能しません) また、IG警戒がON設定時、警戒中にドアを開けるとドア開を検知してリモコンに通報を行います。

警告

- 整備や車検などで、エンジン部を作業中に、突然エンジンが始動すると大変危険です。万一の事故を防ぐためにも、第三者に車を預けるときは、リモコンの電池を抜いておいてください。
- 本機の取り付け後、安全のため、付属のステッカーを貼り付ける必要があります。「ご注意ステッカー(大)」は、エンジンルームを開けたときに、第三者にもわかるような目立つ場所に、「ご注意ステッカー(小)」はボンネットオープナーやその付近の目立つ場所に貼り付けられていることを確認してください。



ご注意ステッカー(大)

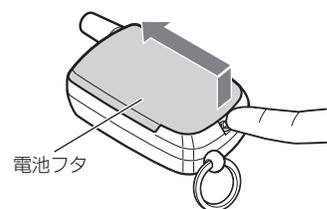


ご注意ステッカー(小)

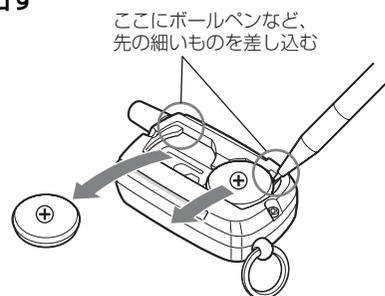
リモコンの電池交換

本機リモコンは工場出荷時、電池を装着してありますが、この電池はモニター用の電池ですので、記載された電池寿命より短い期間で切れることがあります。電池を交換する場合は下記手順で電池を交換してください。
なお、電池交換中は車輦周囲の安全を確認のうえ、不意なエンジン始動には充分にご注意ください。

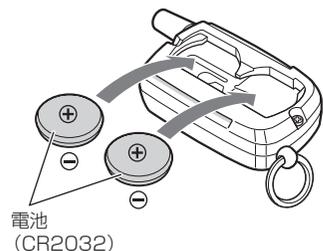
1 リモコン裏面の電池フタをはずす



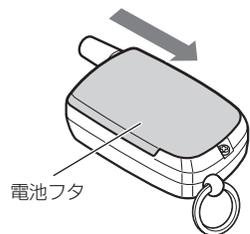
2 ボールペンなど先の細いもので古い電池を取り出す



3 電池の⊕面を上にして、新しい電池(CR2032 2個)を入れる



4 電池フタを取り付ける



電池の交換時期について

「電池を交換してください」と表示されたら電池寿命です。電池が消耗すると、アンサーバックが受信できなくなり、さらに消耗が進むと一切の操作ができなくなります。

電池を交換してください

使用状況による電池寿命の目安

- 終了予告・終了通知機能ONのとき
…アイドリング時間設定15分
1日のリモコン操作(エンジン始動4回、ドアロック・アンロック操作6回)10回で約6ヶ月
- 終了予告・終了通知機能OFFのとき
…1日のリモコン操作(エンジン始動・停止、ドアロック・アンロック操作を含む)10回で約9ヶ月
- SQモードにしているとき
…操作回数に関係なく約2ヶ月

メモ

SQモードに設定している場合、セキュリティ警戒中はリモコンの受信回路をONにしているため、電池の寿命が短くなります。

ご注意

- ・指定の電池(CR2032)以外は使用しないでください。
- ・交換するときは、必ず2つとも新しい電池と取り替えてください。また、交換時には電池の向きを間違えないようご注意ください。

警告

使用済みの電池は、火中に投げ入れないでください。爆発して、火災・やけどの原因となることがあります。また、事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

リモコンの登録

リモコンの紛失や故障などの場合は、新たなリモコンを登録することができます。

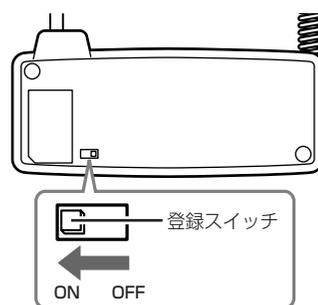
※リモコンは取り寄せ品となるため、ご注文から数日かかる場合があります。あらかじめご了承ください。

※手順の途中でステータスLEDが記載通りに点滅(点灯)しない場合は、手順6に進み、再度手順1から操作を行ってください。

リモコンの登録手順

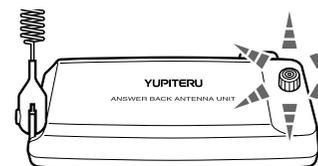
1 シフトレバーをP(パーキング)にして、パーキングブレーキをかけた状態でエンジンキーをOFFにする

2 アンテナユニットの登録スイッチをON(ID書き込み)にする



3 ステータスLED点灯中(約10秒間)にエンジンキーをACCにする

ステータスLEDが2回点滅します。



4 登録するリモコンの(エンジン)ボタンを押し、メニュー画面が表示中に『ドレミファソ』が鳴るまで(ストップ)ボタンを押す



ステータスLEDが2回点滅します。
リモコンから確認音『ピー』とお知らせします。

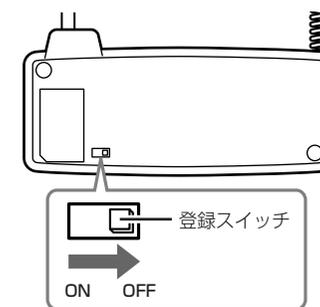
5 もう一度、登録するリモコンの(エンジン)ボタンを押し、メニュー画面が表示中に『ドレミファソ』が鳴るまで(ストップ)ボタンを押す



ステータスLEDが2秒間点灯します。
リモコンから確認音『ピー』とお知らせします。

6 アンテナユニットの登録スイッチをOFF(通常)にする

ステータスLEDが5回点滅します。



7 エンジンキーをOFFにする

バッテリー交換や本機の付け替え時の再設定について

車のバッテリー交換や本機の付け替えなどで、バッテリーや車種別専用ハーネスを取りはずした場合は、再度、P・ポジション検出が必要です。

ジャンクションユニットから『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』という確認音が連続している場合は、以下の手順でP・ポジション検出を行ってください。(P・ポジション検出をしないと、本機は動作しません)

ご注意

エンジンスターターの設定(● 20~25ページ)内容を記憶しているため取り付け車を変更した場合は再設定が必要です。

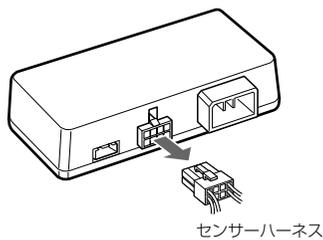
パーキング(P)・ポジション検出

接続が終わっても、ジャンクションユニットを完全に固定する前に、バッテリーのマイナス端子をつないで、それぞれの接続が正しく行われていることを確認してください。

本機はP・ポジション検出をしないと、動作しません。
一部の車種では、P・ポジション検出できないものや、できにくいものがあります。

ご注意

パーキング(P)・ポジション検出の作業は、必ず、センサーハーネスを外した状態で行ってください。(ブレーキ検出線が接続された状態では、正しく検出できません)

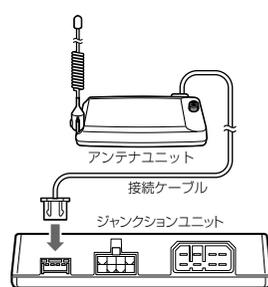


センサーハーネス

1 アンテナユニットの接続ケーブルをジャンクションユニットに接続する

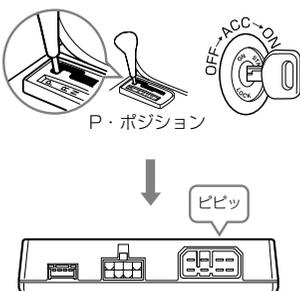
約3秒後に接続の確認を開始します。確認が終了すると『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』という確認音が連続して鳴ります。

※ 確認音が鳴らない場合は、専用ハーネスのアース線の接続場所を、確認音が鳴る場所に変更してください。



2 シフトレバーがパーキング(P)・ポジションになっていることを確認し、キーを差し込んで、OFF→ACC→ONと切り換える

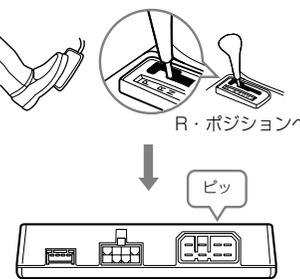
ジャンクションユニットから約3秒後に『ピピッ』という音が鳴ります。



3 ブレーキを踏んでシフトレバーをパーキング(P)・ポジションからリバース(R)・ポジションに切り換える

ジャンクションユニットが約3秒後に『ピッ』と鳴ります。
P・ポジション検出を使用できることが確認できました。

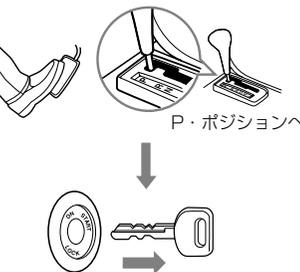
※ 何も音がしない場合は、P・ポジション検出を行うことができません。
シフトレバーをP・ポジションに戻し、キーを抜いて43ページをお読みください。



4 シフトレバーをパーキング(P)・ポジションに戻す

約2秒後にジャンクションユニットから『ピー』または『ピロロロロ』が鳴ることを確認し、キーを抜きます。

※ 何も音がしない場合は、専用ハーネスの種類とアース線の接続場所を、再度確認してください。



以上で初期設定は終了です。センサーハーネスを接続して必要に応じてエンジンスターターの設定を行ってください。

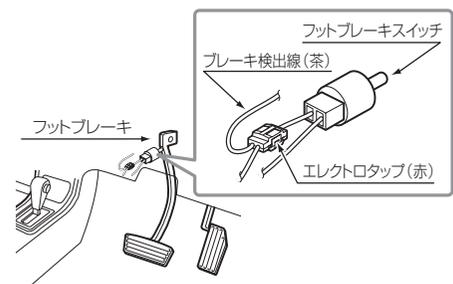
● 20~25ページ「エンジンスターターの設定」

P・ポジション検出できない状態でターボタイマー機能を使用しない場合の接続・設定

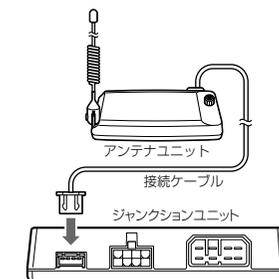
フットブレーキスイッチ配線にブレーキ検出線(茶)を接続します。

ブレーキペダルを踏んで12V、離して0Vまたはブレーキペダルを踏んで0V、離して12Vに電圧が変化することを確認してください

※ 接続先は、サーキットテスターで確認してください。



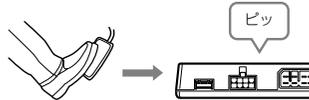
1 センサーハーネスを接続し、アンテナユニットの接続ケーブルをジャンクションユニットに接続する



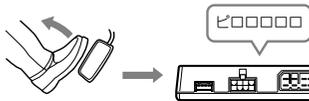
2 シフトレバーがP・ポジションになっていることを確認し、ブレーキペダルは踏まずにキーを差し込んで、OFF→ACC→ONと切り換える



3 ブレーキペダルを踏み ジャンクションユニットが『ピッ』と鳴ります。



4 ブレーキペダルから足を離す ジャンクションユニットが『ピロロロロ』と鳴ります。



以上でP・ポジション検出は終了です。途中で確認音が鳴らない場合は車種別専用ハーネス、アース線の接続を確認してください。

以上で初期設定は終了です。必要に応じてエンジンスターターの設定を行ってください。

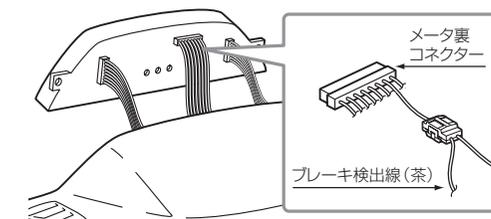
● 20~25ページ「エンジンスターターの設定」

P・ポジション検出できない状態でターボタイマー機能を使用する場合の接続・設定

P・ポジションインジケータランプの配線にブレーキ検出線(茶)を接続します。

シフトをパーキング(P)の位置にしたとき12V、パーキング(P)以外で0Vまたはシフトをパーキング(P)の位置にしたとき0V、パーキング(P)以外で12Vに電圧が変化することを確認してください。

※ 接続先は、サーキットテスターで確認してください。



ジャンクションユニットのコネクター2にセンサーハーネスを接続し、「パーキング(P)・ポジション検出」(● 42ページ)に戻ってP・ポジションの検出を行ってください。

Q リモコン操作でエンジンの始動や停止ができない。(「エンジン始動」などを表示する場合)

A リモコンでのエンジンスタートができない場合は、以下の事項についてご確認ください。

「通信エラー」と表示する。

- キーでエンジンを始動していませんか？
- 電池が消耗していませんか？
- スリープ機能が動いていませんか？
➡ 39ページ「スリープ機能について」
- 車と離れすぎていませんか？
- パーキング(P)・ポジション検出ができていますか？
➡ 42ページ「パーキング(P)・ポジション検出」
- それぞれのコネクターがジャンクションユニットにしっかり接続されていますか？

「エンジンを始動します」と表示する。

- シフトレバーがパーキング(P)になっていますか？
- 車のバッテリーが弱っていませんか？
- エンジンスターターの設定が正しく設定されていますか？
➡ 20~25ページ「エンジンスターターの設定」

Q 気候が寒くなってきたら、エンジンがかからなくなった。

A 気温が低いと、エンジン自体のかかりが悪いため、セル時間を少しながめに設定してみましょう。
➡ 20ページ「セル時間の設定」

Q エンジンがかかるがすぐ停止してしまう。

A エンジンの始動検出ができていないためです。取り付け販売店にご相談の上、始動判定方法選択を「特殊判定」に変更してください。また、「特殊判定」を選択した際に、「特殊判定」を選択して、エンジンが始動することを確認ください。「特殊判定」を選択して、エンジンが始動しないと車のバッテリー上がりの原因となります。
➡ 24ページ「始動判定方法選択」

Q リモコンを操作していたら、エンジンがかからなくなった。

A エンジンスターターの設定が変更されてしまった可能性があります。取り付け販売店にご相談ください。
➡ 20~25ページ「エンジンスターターの設定」

Q リモコンのディスプレイが表示されない。

A

- 電池が消耗していませんか？
- 電池が正しく入っていますか？電池の装着を誤った場合は、ショート状態により電池が消耗している可能性がありますので、新しい電池をご使用ください。

Q リモコン操作できる距離が短い。

A

- ➡ 5ページ「リモコン使用時の注意とヒント」をご覧ください。
- アンテナユニットのアンテナの近くに金属(ピラー)などがあると、通信距離が短くなります。金属部より5cm以上離れた場所に取り付けてください。
- リモコンのアンテナに手を触れていませんか？
- アンテナユニット(車)とリモコンの間に、障害物がありませんか？
- リモコンにチェーンやカギ、金属アクセサリなどを付けていると、通信エラーを発生する場合があります。
- アンテナを完全に引き伸ばし、リモコンの右側面を車輛に向けて電波が届きやすくなる場合があります。

Q 送信音「ドレミファソ」と、「通信エラー」と表示する。

A 周囲の電波状況によっては、アンテナユニットの電波がリモコンに届かない場合があります。
➡ 5ページ「リモコン使用時の注意とヒント」

Q エンジン始動しているが、アンサーバックが受信されない。

A

- アンサーバックが返ってくる前にボタン操作を行っていませんか？
アンサーバックされる前にボタンを押すと、アンサーバックはされません。

Q アイドリング終了前予告・終了通知機能をONにしているが、リモコンに通知されない。

A

- アイドリング終了3分前やアイドル終了時にリモコン操作を行っていませんか？
アンサーバック直前にリモコン操作を行うと、アイドル終了3分前やアイドル終了時の通知がされない場合があります。

Q ドアロック、アンロックが動作しない。(別売のキーレスエントリー：A-17SFの接続をしている場合)

A 車によってはキーを使用してドアをロックした場合は、ドアをアンロック(解錠)できない場合があります。また、エンジンがかかっている状態でドアのロック、アンロックができない場合があります。

Q ターボタイマーが働かない。

A

- ターボタイマー機能がONに設定されていますか？
➡ 21ページ「ターボタイマー機能のON/OFF設定」
- ターボタイマー機能はP・ポジション検出ができた場合、またはP・ポジションインジケータランプにブレーキ線を接続している場合でターボタイマー機能をONに設定しているときに使用できます。また、ターボタイマーの機能は、シフトレバーがパーキング(P)にセットされた時点から開始されますので、シフトレバーをパーキング(P)に入れる前に車のエンジンを切ったり、パーキング(P)のままアフターアイドル時間が経過すると、ターボタイマー機能は動作しません。
➡ 19ページ「ターボタイマー機能」

Q アフターアイドル時間が短い。

A ターボタイマーのカウントダウンは、シフトレバーがパーキング(P)に入った時点から開始されます。
➡ 19ページ「ターボタイマー機能」

Q

- IG警戒ON設定で警戒中にエンジン始動を検知しても、リモコンに通報しない。
- 車輦側では、警告・警報動作を行うが、リモコンに通報しない。(別売Aguilas ESと併用している場合)

A

- リモコンが通報待ち受け状態  になっていますか？
➡ 32ページ「リモコンに通報を行わない場合」
- 電池が消耗していませんか？

Q 付属のブレーキ検出線、オルタネータ線は接続するの？

A ブレーキ検出線は、P・ポジション検出ができた車には接続する必要はありません。(P・ポジション検出ができた車に接続すると、誤動作する場合があります) また、オルタネータ線は始動検出ができる場合は特に必要ありませんが、冬場など、寒い季節になると始動検出ができにくくなる車があります。

Q 車を使用する頻度が少なく、バッテリー上がりが心配。

A 14日以上、車の利用がないと、スリープ機能によってエンジンスターターの電流消費を抑えます。スリープ機能が働くと、リモコンでの操作ができません。エンジンキーをACCにすると解除されます。

本機によるエンジンスタートやターボタイマー機能が動作しない場合は、エンジン始動失敗後にメインユニットから鳴る音(エラー音)により、不具合を起こしている場所がわかります。本機の動作に不具合があったときは、この「始動エラー音」を確認して、取り付け店または弊社で相談窓口にお問い合わせください。

始動エラー音	不具合の検出
ビビピッ ビビピッ ビビピッ	Pポジションの検出ができていません。 ➡ 42ページ「パーキング(P)・ポジション検出」
ピー ピー ビビピッ	エンスト検出
ピー ピー ピー	エンジン始動異常
ピー ピッ	エンジンスターター動作中断時 P・ポジション検出
ピー ピッピッ	エンジンスターター動作中断時 ブレーキ検出
ピー ビビピッピッ	エンジンスターター動作中断時 ドア検出
ピー ピー	エンジンスターター動作中断時 電圧異常
ピー ピー ピッ	エンジンスターター動作中断時 オルタネータ異常
ビビピッ	ターボタイマー動作中断時 溶着検出
ビビピッ ピッ	キー飛び込み

アフターサービスについて

■保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ、保証内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

■保証期間

お買い上げの日から3年間です。(リモコンは1年、電池等消耗部品を除く)

■修理を依頼されるとき

まず本書の44、45ページ「こんなときは」をよくお読みください。それでも症状の改善がないときは、故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

※修理期間中の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

●保証期間中のとき

恐れ入りますが、お買い上げの販売店に、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定に従って修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき

取付販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

■アフターサービスなどについてご不明な点は

お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

■リモコンの登録について

リモコンを紛失や破損したときは、新しいリモコンを登録(有償)することができます。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

※リモコンは取り寄せ品となるため、ご注文から数日かかる場合があります。あらかじめご了承ください。※リモコンは取り寄せ品となるため、ご来店当日の登録ができない場合があります。あらかじめご了承ください。

※リモコンの登録にあたっては、本機にIDコードを登録する必要があります。

「取付・接続説明書」や本書にしたがった、正常な取り付け・接続、使用状態で製品に故障が生じた場合は、製品の保証書にしたがって修理いたします。
また、本機取り付けによる車輛や車載品の故障、事故などの付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

＜無料修理規定＞

1. 表面記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体および本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居で贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ)使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ)お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ)特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
 - (ホ)故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ)本書のご提示がない場合
 - (ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (チ)付属品や消耗品等の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

故障内容記入欄

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。
※弊社営業所・サービス部は本書(46ページ「ユピテルご相談窓口一覧」)をご覧ください。

ユピテルご相談窓口一覧

お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

取付、取扱方法に関するお問い合わせ

受付時間 10:00~18:00 (年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター **TEL. (0564)45-6515**

取扱方法、修理依頼、販売店の紹介に関するお問い合わせ

受付時間 9:00~17:30 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

地区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL. (011)618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北8条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL. (022)284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡	東京営業所・サービス部 TEL. (03)3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・長野・福井	名古屋営業所・サービス部 TEL. (052)769-1601 〒465-0092 愛知県名古屋市長東区社台3-181
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部 TEL. (06)6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部 TEL. (082)230-1711 〒731-0135 広島県広島市安佐南区長束1丁目34-22-102
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL. (092)552-5351 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19

●上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
●電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

仕様

■リモコン

適合技術基準	特定小電力無線局テレコントロール用無線設備
送信周波数	429.2375MHz
送信出力	10mW以下
使用電池	リチウム電池 CR2032×2
動作温度範囲	-10℃~+50℃
寸法	32.0(W)×52.0(H)×19.2(D)mm(突起部含まず)
重量	33g(電池含む)

■アンテナユニット/ジャンクションユニット

適合技術基準	特定小電力無線局テレコントロール用無線設備
送信周波数	429.2375MHz
送信出力	10mW以下
電源電圧	12V車専用(DC9~16V) (ジャンクションユニット)
消費電流	スリープ時：約7mA 待機時：約17mA(平均)
動作温度範囲	-20℃~+80℃
寸法	アンテナユニット ：69.0(W)×13.0(H)×28.0(D)mm (突起部およびアンテナ部含まず) ジャンクションユニット ：111(W)×26(H)×61(D)mm(突起部含まず)
重量	アンテナユニット：76.1g(ケーブル含む) ジャンクションユニット：115g

セット内容

接続前に、セットの内容をお確かめください。

●リモコン(1)

※リモコン用電池 CR2032(2)は内蔵されています。

●ジャンクションユニット(1)

●アンテナユニット(1)

●アンテナ取り付け金具(1)

●センサーハーネス(1)

●エレクトロタップ(2)

●コードクリップ(1)

●タイラップ(大1)

●マジックテープ(1)

●ご注意ステッカーシート(1)

●取扱説明書/保証書(本書)

●取付・接続説明書

保証書

(持込修理)

本書は、本書記載内容(裏面記載)で、
無料修理を行うことを、お約束するも
のです。

保証期間中に、正常なご使用状態で、
故障が発生した場合には、本書をご提
示のうえ、お買い上げの販売店に修理
をご依頼ください。

品番	VE-E740W (テレコントロールエンジンスターター)
S/No.	
お買い上げ	年 月 日
保証期	お買い上げの日より3年 対 象 部 品 車 載 シ ョ ッ ト (リ モ コ ン ト ロール) は 1 年。(消耗部品を除く)
お名前	様
お客様	ご住所 〒
販売店	店名・住所 TEL.()

上欄に記入または捺印の無い場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い
上げの年月日、店名等を証明するものをお貼りください。

無効